

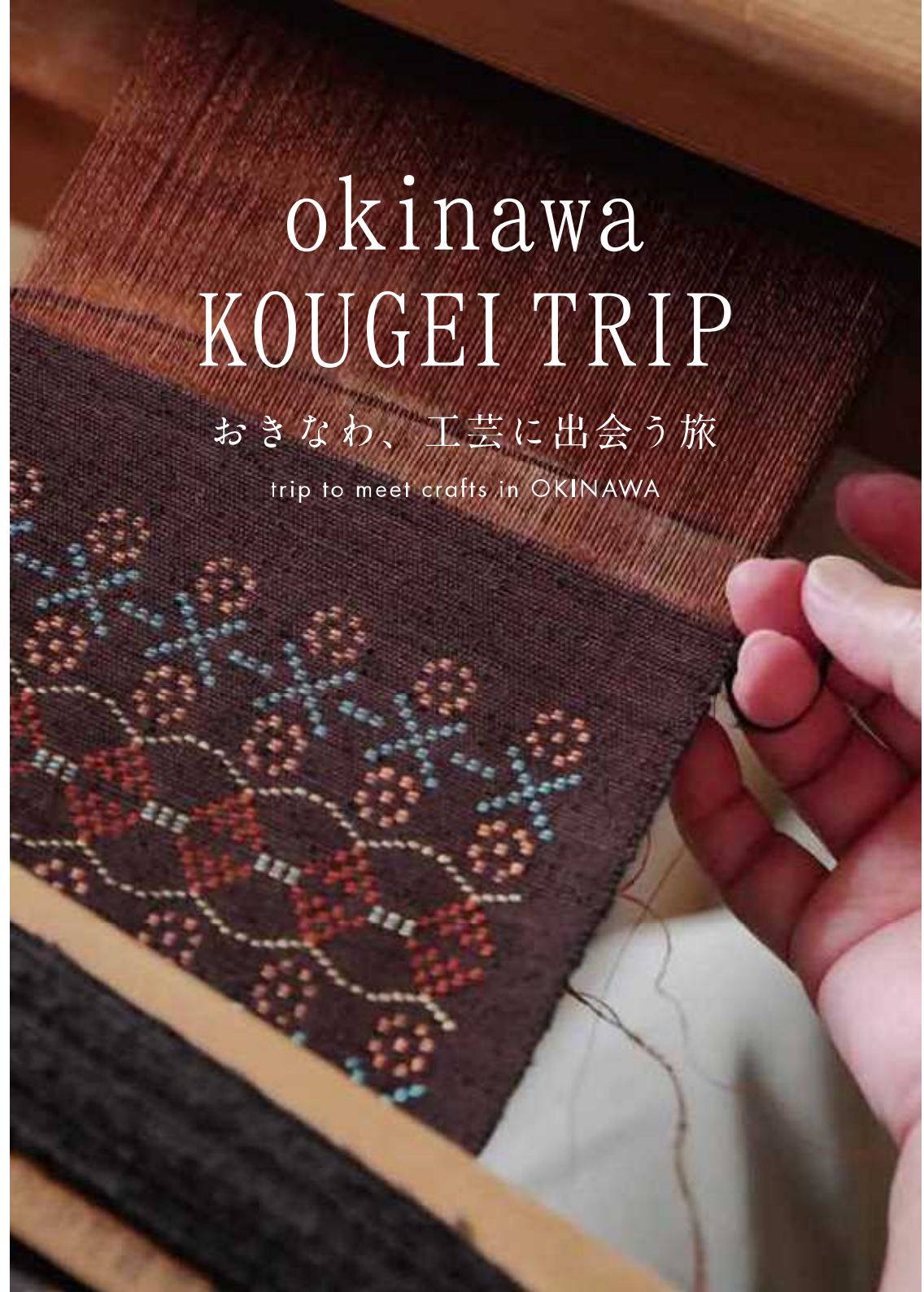


okinawa KOUGEI TRIP

おきなわ、工芸に出会う旅

監修 セソコマサユキ
 編集 上村明菜
 テキスト 新使川原寛子
 デザイン 小野真弓 (johki)
 写真 青塚博夫 (p7・8)、
 大滝朝太郎 (P2 首里編、P11・12、裏表紙 右列中央 右列下)
 発行元 沖縄県

2022年3月 発行



okinawa KOUGEI TRIP

おきなわ、工芸に出会う旅

trip to meet crafts in OKINAWA

おきなわ、工芸に出会う旅

trip to meet crafts in OKINAWA

琉球王朝時代より、外国との交流を通して独自の文化を築いてきたおきなわ。おきなわには16品目の国指定の伝統工芸品があり、その品目数の多さは全国で3番めです。

おきなわの人たちの暮らしのそばには、今もなお伝統工芸が息づいています。

今度のおきなわ旅には、工芸品とその地域の文化を楽しむじかんを取り入れてみてはいかがでしょうか。

おきなわの魅力をもっと掘り下げることができるはずです。ひとあじ違った「工芸に出会う旅」をご提案します。

contents

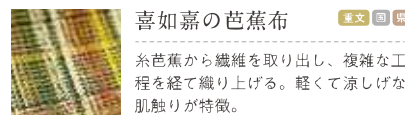
- 1 メッセージ
- 2 おきなわの工芸品一覧

工芸を楽しむおきなわ旅

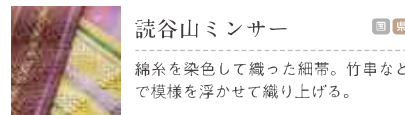
- | | |
|---------------|--------------|
| 3 やんばる | 11 首里 |
| 5 やんばるドライブMAP | 13 首里おさんぽMAP |
| 7 読谷村 | 15 南部 |
| 9 読谷村ドライブMAP | 17 南部ドライブMAP |

おきなわの工芸品一覧

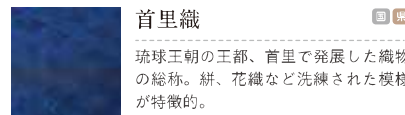
国指定重要無形文化財 国指定伝統的工芸品 県指定伝統工芸製品



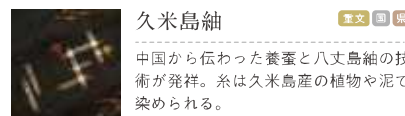
喜如嘉の芭蕉布 国指定重要無形文化財
糸芭蕉から繊維を取り出し、複雑な工程を経て織り上げる。軽くて涼しげな肌触りが特徴。



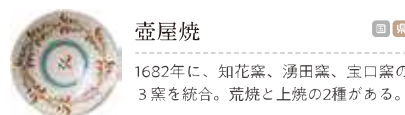
読谷山ミンサー 国指定伝統的工芸品
綿糸を染色して織った細帯。竹串などで模様を浮かせて織り上げる。



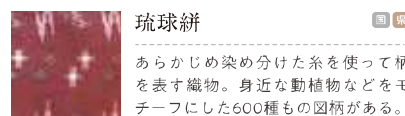
首里織 国指定伝統的工芸品
琉球王朝の王都、首里で発展した織物の総称。絣、花織など洗練された模様が特徴的。



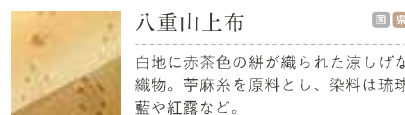
久米島紬 国指定重要無形文化財
中国から伝わった養蚕と八丈島紬の技術が発祥。糸は久米島産の植物や泥で染められる。



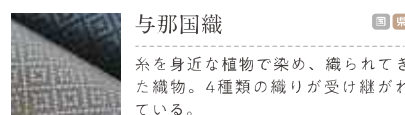
壺屋焼 国指定伝統的工芸品
1682年に、知花窯、湧田窯、宝口窯の3窯を統合。荒焼と上焼の2種がある。



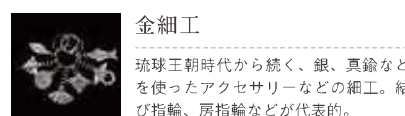
琉球絣 国指定伝統的工芸品
あらかじめ染め分けた糸を使って柄を表す織物。身近な動植物などをモチーフにした600種もの図柄がある。



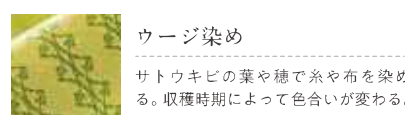
八重山上布 国指定伝統的工芸品
白地に赤茶色の絣が織られた涼しげな織物。苧麻糸を原料とし、染料は琉球藍や紅露など。



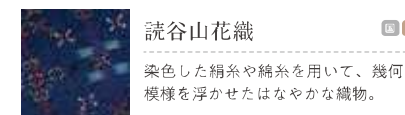
与那国織 国指定伝統的工芸品
糸を身近な植物で染め、織られてきた織物。4種類の織りが受け継がれている。



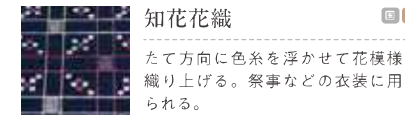
金細工
琉球王朝時代から続く、銀、真鍮などを使ったアクセサリーなどの細工。結び指輪、房指輪などが代表的。



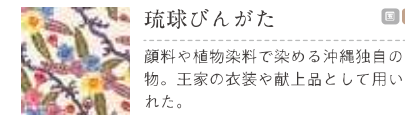
ウージ染め
サトウキビの葉や穂で糸や布を染める。収穫時期によって色合いが変わる。



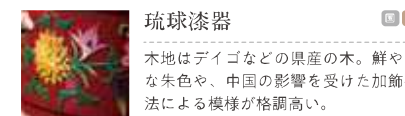
読谷山花織 国指定伝統的工芸品
染色した絹糸や綿糸を用いて、幾何学模様を浮かせたはなやかな織物。



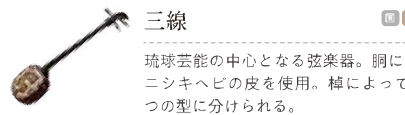
知花花織 国指定伝統的工芸品
たて方向に糸を浮かせて花模様を織り上げる。祭事などの衣装に用いられる。



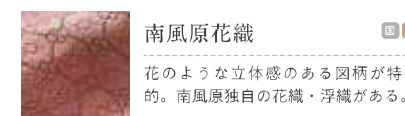
琉球びんがた 国指定伝統的工芸品
顔料や植物染料で染める沖縄独自の染物。王家の衣裳や献上品として用いられた。



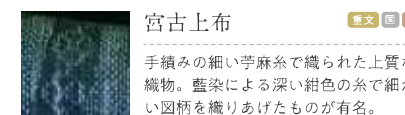
琉球漆器 国指定伝統的工芸品
木地はデイゴなどの県産の木。鮮やかな朱色や、中国の影響を受けた加飾技法による模様が格調高い。



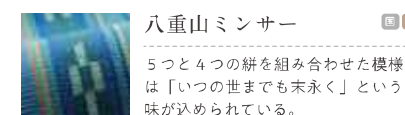
三線 国指定伝統的工芸品
琉球芸能の中心となる弦楽器。胴にはニシキヘビの皮を使用。種によって7つの型に分けられる。



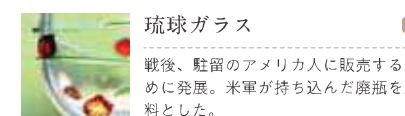
南風原花織 国指定伝統的工芸品
花のような立体感のある図柄が特徴的。南風原独自の花織・浮織がある。



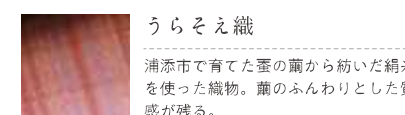
宮古上布 国指定伝統的工芸品
手績みの細い苧麻糸で織られた上質な織物。藍染による深い紺色の糸で細かい図柄を織りあげたものが有名。



八重山ミンサー 国指定伝統的工芸品
5つと4つの絣を組み合わせた模様には「いつの世までも末永く」という意味が込められている。



琉球ガラス 県指定伝統工芸製品
戦後、駐留のアメリカ人に販売するために発展。米軍が持ち込んだ廃瓶を原料とした。



うらそえ織
浦添市で育てた壺の藪から紡いだ絹糸を使った織物。藪のふんわりとした質感が残る。

掲載内容は、2022年3月時点の情報となります。
営業内容など詳細は、直接店舗へお問い合わせください。

おきなわ、工芸に出会う旅

…1…

やんばる

Yanbaru



やんばるの自然から生まれた 暮らしの品々

やんばるとは、沖縄本島北部の山々が広がるエリアのこと。天然のビーチや滝などが多く残り、ヤンバルクイナなど希少な動植物が生息しています。豊かな自然の恵みを活かして、古くからいろいろな工芸品がつくられてきました。

大宜味村の「喜如嘉(きじょか)の芭蕉布(ばしょうふ)」は、糸芭蕉の繊維で織られた軽やかな織物です。原料を栽培して繊維を取り出し、糸をつくれます。その糸を図案に合わせて染色、そして織りへ。全部で23もの工程を経て、ていねいに織り上げられます。風通しがよく、暑い沖縄の暮らしには欠かせない着物として、王族から庶民まで広く愛されてきました。

本部町の伊豆味(いずみ)は、琉球藍の産地です。雨が多い森は、琉球藍の栽培にちょうど良い環境だといわれています。収穫した琉球藍を発酵させて作られる泥藍という染料から、深くやさしい色合いの藍染が仕上がります。

名護市に伝わる「古我知焼(こがちやき)」は、おきなわの古窯のひとつ。1800年代から生産は途絶えていましたが、1974年に復興されました。現代の暮らしになじむ、素朴な作風が人気を集めています。



やんばる ドライブMAP

山と海にはさまれた風景は、ドライブにぴったり。
やんばるらしい雄大な自然が楽しめます。
日本一早く咲く桜の名所もあちこちに。

買い物 飲食店 見学 宿



道の駅 ゆいゆい国頭

クラフトやフルーツ、スイーツなど、やんばるの特産品が揃う道の駅。レストランでは国頭産の豚や鮮魚など、地元の食材を使ったメニューが楽しめる。

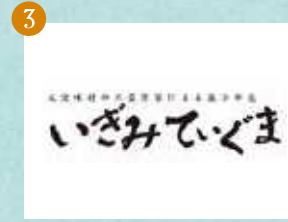
国頭村奥間 1605
 yuiyui_kunigami



山原工藝店

やんばるの作家によるやちむんや木工、びんがたなどを扱うセレクトショップ。普段使いにもお土産にもぴったりな品々が揃う。

国頭村浜 521-1
 yambarucraftworks



いぎみていくま

芭蕉布、陶芸、漆芸、木工芸、染織など、大宜味村の工芸作家が集まる展示販売会。「いぎみ」は大宜味の昔の呼び方で、「ていくま」は「手先が器用」という沖縄の方言。毎年4月に開催されている。

大宜味村喜如嘉 320
(大宜味村農村環境改善センター)
 igimitiguma



大宜味村立芭蕉布会館

国指定伝統的工芸品である「喜如嘉の芭蕉布」の後継者育成のための施設。作業場と展示を兼ねている。芭蕉布の製造工程を動画で学んだり、制作風景を見学することも。

大宜味村喜如嘉 454
 0980-44-3033



道の駅 ゆいゆい

1

山原工藝店

2

笑味の店 いぎみていくま

3

がじまんろー 大宜味村立芭蕉布会館

4

田村窯

5



田村窯

大宜味村にて夫婦で作陶。焼成には登窯を使用している。伝統的なやちむんの絵柄をベースに、現代になじむデザインを生み出している。高台にある工房からは海がのぞめる。

大宜味村津波 57-2
 0980-44-1908



エドメ陶房

カフェこくろ

今帰仁村

藍風

Himbeere 菓子店

やちむん喫茶

シーサー園

ハコニワ

古我知焼窯

しまドーナッツ

tinto tinto

CALIN

古宇利島

屋我地島

58

おきなわ、工芸に出会う旅

…2…

読谷村

Yomitan

読谷村

壺屋やちむん通り

思いと歴史を伝える やちむんのある風景

読谷村（よみたんそん）は、50もの窯元が集まるやちむんの生産地です。「やちむん」とはおきなわの言葉で「焼き物」のこと。多くの工房が拠点とする「やちむんの里」には登り窯が建ち並び、ここにしかない景色が広がっています。

読谷村の喜名（きな）には、琉球王朝時代から「喜名焼」という古窯がありました。1670年ごろまでさかんに生産されていましたが、次第に衰退。1972年に、人間国宝の金城次郎氏が那覇市壺屋から読谷村へ工房を移すと、それをきっかけに多くの職人が集まり、やちむんの里となりました。

ほかにも読谷村では、古くから「読谷山花織（ゆんたんざはなうい）」という織物が生産されています。糸を浮かせてこまやかな模様を織り出した、はなやかな織物です。琉球王朝時代に交易品として発展しました。明治時代に生産は途絶えましたが、戦後に地元の女性たちによって復興されました。

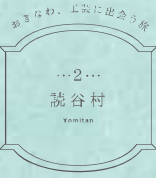
読谷山花織と同じ時期、「読谷山ミンサー」の技術も復元されました。ミンサーとは、綿糸で織られた細い帯のこと。竹串でたて糸を浮かせて織ることで、幾何学模様が織り出されます。帯のほかにも、三線を彩る洞巻にも使われます。

“日本一人口の多い村”の読谷村には、住宅やお店がたくさん。それでも一歩わき道に入れば、さとうきび畑やさきれいなビーチが現れる、自然豊かなエリアでもあります。読谷村の人々が大切に守ってきた伝統と自然に触れ、心あたまるひとときを過ごしてみたいかがでしょう。

那覇市壺屋の「やちむん通り」もおすすめ



1682年、琉球王朝によって3つの古窯が集められ、「壺屋焼」として統合されました。那覇市壺屋にある「やちむん通り」には、窯元の直営店やセレクトショップが並びます。昔ながらの街並みをながめながらやちむんのお買い物を楽しめる人気スポットです。（住所：那覇市壺屋1）



読谷村 ドライブMAP

おいしいパン屋やカフェから世界遺産の座喜味城跡まで、立ち寄りやすいスポットがたくさん。毎年12月と2月には、やちむん市が開催されます。

🛒 買い物 🍴 飲食店 🔍 見学 🏠 宿



1 星野リゾート バンタカフェ 🍴

星野リゾート内にある自然の地形を活かしたカフェ。海に面したテラス席でオリジナルのドリンクや軽食が楽しめる。定期的に「海辺のやちむん市」も開催される。

読谷村儀間 560
📷 banta_cafe



2 やちむんの里 🏠

読谷村内の窯元が集まるやちむん生産の中心地。迫力のある登り窯を見ることができる。多くの工房兼店舗が並び、買い物が楽しめる。

読谷村座喜味 2653-1
☎ 098-958-4468 (読谷村共同直売店)



3 読谷村伝統工芸 総合センター 🔍

国指定伝統的工芸品の読谷山花織・読谷山ミンサーの後継者育成、伝統を保護するための活動拠点。展示品の見学や、工芸品を購入することができる。

読谷村座喜味 2974-2
☎ 098-958-4674



4 tou cafe and gallery 🍴

北窯 松田米司氏の作品を中心としたやちむんのギャラリー。実際に作品を手にとって買うことができる。カフェが併設されており、やちむんで食事を楽しむことも。

読谷村字伊良皆 578
📷 tou.cafeandgallery



5 りゅう 🏠

クバ、月桃などを使ったおきなわの民具ややちむんなど、手しごとによる工芸品を扱うギャラリー。不定期でさまざまなワークショップも開催される。

読谷村古堅191
📷 ryuyomitan2014



おきなわ、工芸に出会う旅

...3...

首里

Syuri



王都のかがやきを映した、 首里の工芸

那覇市首里は、琉球王朝時代、政治と文化の中心地として繁栄しました。首里城公園や石畳の道など、歴史を肌で感じられるスポットが点在しています。格式の高い工芸品が生まれたのも、城下町ならではの。「首里人（スインチュ）」と呼ばれる首里出身の人々は、その伝統と誇りを大切に受け継いできました。

首里では、主に王族や士族のための工芸品が多く生産されました。「びんがた」もそのひとつ。動植物を大胆にあしらったデザインと、鮮やかな色合いがおきなわらしさを感じさせます。

びんがたは、主に型紙を使って染め上げる「型染め」の技法で作られています。顔料と植物染料をどちらも使用することが大きな特徴です。

琉球王朝が廃止されたあと、びんがたの制作はしだいに衰えます。しかし戦後、「紅型三宗家」の後継者2人が首里に戻り、伝統を復活させました。軍用地図を型紙に、レコードの端をヘラとし、技術をつないでいったのです。

首里で発展した工芸には「首里織」もあげられます。琉球王朝時代には、高貴な身分の人々の着物として織られてきました。織物はおきなわ各地で生産されていましたが、首里織には特に高度な技術が求められ、首里でしか生産されない「花倉織」などの技法が伝えられています。階級によって身につけられる素材、色が厳しく分けられており、いちばん高貴とされる黄色は、王家専用と決められていました。

おもむきのある石畳を歩きながら、王宮を彩ったはなやかな工芸品に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。この旅を特別なものにしてくれるはず。



首里 おさんぽMAP

歴史を感じられる老舗の菓子店から、
創作料理が楽しめるカフェまで、小さなエリアに魅力がたっぷり。
琉球王朝のはなやかさと気品を感じさせる工芸が集まります。

- 買い物
- 飲食店
- 見学
- 宿



1 本家新垣菓子店

琉球王朝時代から続くちんすこう専門店。シンプルな材料で作られた素朴な味わいが人気。予約分だけで売り切ってしまうことも。

那覇市首里赤平町 1-3
☎ 098-884-3413



2 首里染織館 suikara

国指定伝統的工芸品の首里織、びんがたの伝統を継承するための組合施設。制作工程や歴史を学んだり、染織を体験したりすることができる。

那覇市首里当蔵町 2-16
📷 suikara2022



3 CONTE

おきなわ県産の魚や肉、新鮮な野菜を使った創作料理が気軽に楽しめるカフェ。県内の作家による木工・陶芸の作品や、こだわりの調味料などの販売も。

那覇市首里赤田町 1-17
📷 conte_okinawa



4 カタチキ

びんがたの技法で日常に使いやすい小物を制作。デザイン、染め、縫製までていねいな手作業でつくられる。

那覇市首里崎山町 4-1
📷 katachiki



5 金網工またよし

琉球王朝時代の製法を受け継ぐ金網工の工房。代表的な作品に、銀かんざしや房指輪、結び指輪がある。月桃など、おきなわの植物をモチーフとしたアクセサリも。制作の見学や購入もできる（要事前連絡）。

那覇市首里崎山町 1-5 1
📷 kanzeiku.matayoshi

市立病院前

石倉

橋塚

ぎぼまんじゅう

● 榮椿 (えいちん)

1 ● 本家新垣菓子店

● 山下珈琲店

● papoter pepin

玉那覇味噌醤油

ぶくぶく茶嘉例山房

● 富久屋

山城まんじゅう

2 ● 首里染織館 suikara

沖縄県立芸術大学
附属図書館芸術資料館

● decco off-line store

WOLF BRÄU

守礼門

● TOUCA BAKE SHOP

首里城公園

3 ● CONTE

琉球料理 赤田風

瑞泉酒造

4 ● カタチキ

5 ● 金網工またよし

金城町石畳道

こちよい海風とともに 工芸をめぐる 南部の旅

沖縄本島南部は、手つかずのビーチや折りの場所など、自然とともに生きるおきなわの人々の暮らしが感じられるエリアです。世界遺産でもある「斎場御嶽（せーふぁーうたき）」などの史跡や、神の島と呼ばれる「久高島（くだかじま）」などは、古くから神聖な場所として守られてきました。

那覇空港から少し車を走らせれば、サトウキビ畑が広がるのどかな風景が現れます。このサトウキビを染料とした「ウージ染め」は、豊見城市の特産品のひとつ。サトウキビの葉や穂を煮出し、糸や布を染めます。自然を感じるおだやかな色合いが特徴です。葉を収穫する季節や染め方によって、緑系から黄系まで染めの色が変わります。また、冬ごろに実る穂を煮出すと、やさしいピンク色に染めることができます。

南風原町は、「琉球絨」や「南風原花織」の産地です。琉球絨は、日本の絨織の原点であるといわれています。かつては県内各地で織られていた琉球絨ですが、現在ではそのほとんどが南風原町で生産されています。琉球王朝時代から伝わる600種もの図柄があり、雲や鳥、豚の餌箱など、身近にある自然や道具がモチーフになっています。

糸を浮かせて立体感のある模様をつくる南風原花織は、はなやかな風合いが魅力。南風原町では母から娘へと、その複雑な技法が受け継がれてきました。

漁師のまちといわれる糸満市には、県内最大の琉球ガラス工房「琉球ガラス村」があります。廃瓶からつくられる琉球ガラスは、戦後、駐在兵からの注文が増えたことによりその技術が発展。ビール瓶からは茶色、窓ガラスからは淡い水色と、廃材の色を活かしたもののづくりがされていました。独特の気泡やくすみが残る、あたたかい味わいが人気です。

のんびりとした空気が流れる沖縄本島南部は、海がのぞめるカフェや、個性的な宿も多いエリアです。工芸品の魅力と自然のパワーを感じながら、ゆったりと過ごしてみたいかがでしょう。

おきなわ、工芸に出会う旅

…4…

南部

nanbu



歴史・技術を伝え 未来をつむいでいく「おきなわ工芸の杜」



「おきなわ工芸の杜」は、沖縄の工芸産業の振興のため、人と技術・情報の交流拠点となる施設です。工芸品の展示、つくり手の支援のための貸し工房や共同工房などがあり、製作の様子を見学したり体験したりすることができます。（住所：豊見城市宇 豊見城 1114-1）



南部 ドライブMAP

那覇市

Yuna

のどかな景色のなかで、植物を活かした素朴な工芸品に出会えます。
びんがたや琉球ガラス、アクセサリなど、ものづくりを身近に感じさせてくれるお店が点在しています。

🏠 買い物 🍴 飲食店 🔍 見学 🏠 宿



1 琉球かすり会館 🔍

国指定伝統的工芸品である南風原町の特産品「琉球絣」の拠点。琉球絣の衣類やネクタイなどの小物が展示販売されている。制作工程の見学や、織り体験をすることも。

南風原町字本部 157
☎ 098-889-1634



2 DOUCATTY 🏠

田原夫妻による手染めの布製品の工房兼ショップ。沖縄の動物や自然の表情をモチーフにしたデザインが人気。手ぬぐい、Tシャツなど日常に使いやすい商品が並ぶ。

南城市佐敷新里 740-1
📷 doucattytokoto

● うんてん洋菓子店 🏠

🏠 🔍 琉球かすり会館

1

DOUCATTY 🏠

2

スパイスの呼吸 🏠

BE NATURAL 🍴

bonoho 🏠

3 虹亀商店 🏠

ニライカナイ橋展望台 🔍

宮城陶器 🏠

陶房真喜屋 🏠

斎場御嶽

🏠 内田製パン

🍴 屋宜家 ●

🔍 ガンガラーの谷

🍴 沖縄そば峰

🍴 玉城食堂

4 mui 🏠

🍴 食堂かりか

🍴 浜辺の茶屋

🍴 食堂かりか

Botchi.andante.andante 🏠

🏠 ケートル..

🏠 ニャン山

🏠 琉球ガラス村

● atelier sou 🏠

🏠 🔍 機織工房しよん

5

平和記念公園

331



3 虹亀商店 🏠

びんがた作家、亀谷明日香氏の工房兼ショップ。オリジナルデザインの雑貨や小物が購入できる。古民家を活用したおもむきのある店舗からは、本島南部の海のぞめる。

南城市知念字吉富サウジ原 335-1

📷 nijigameokinawa



4 玉城食堂 🍴 🏠

台湾料理と洋食の2パターンのメニューが楽しめるレストラン。本島南部の画家、陶芸家、木工作家などが共同で運営。ギャラリーも兼ねる。公民館をリノベーションしたおしゃれな店内。

南城市玉城玉城 93-3

📷 tamagusukushokudo



5 機織工房しよん 🏠 🔍

おきなわの伝統的な織りの技法を用いて、衣服や小物を手織りで制作。現代の生活でも使いやすいオリジナルのデザインを考案。工房見学や、オーダーをすることもできる。

島尻郡八重瀬町字仲座 72

📷 hataori_kobo_shiyon